



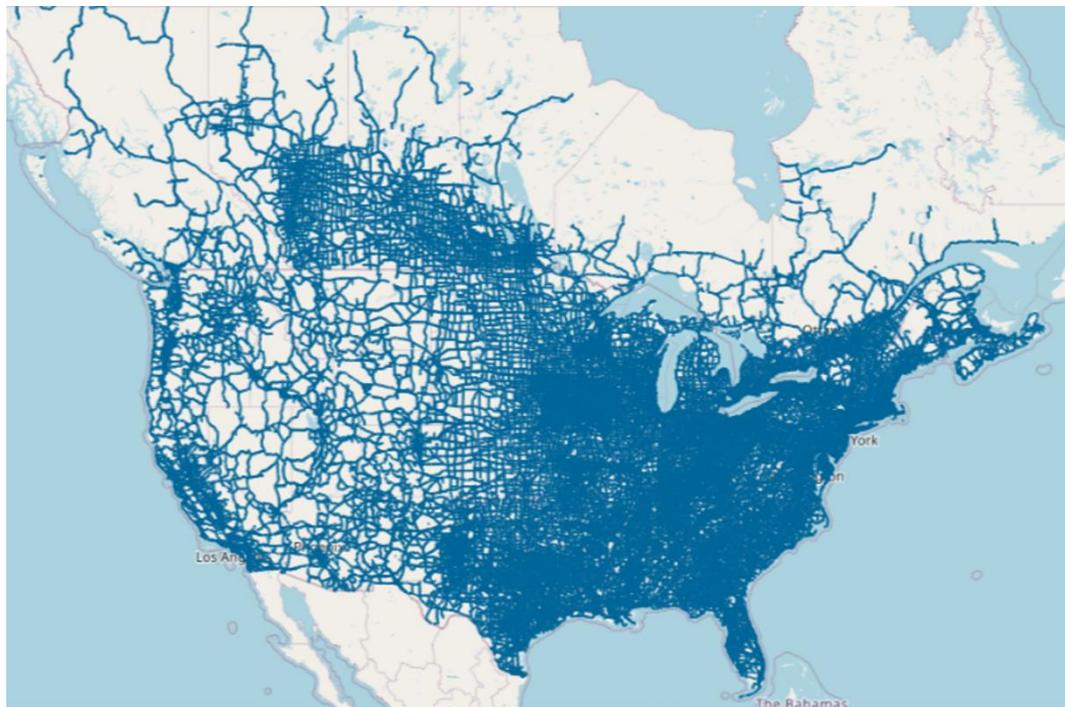
2025年8月20日

各位

会社名 ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉村 修一
(コード番号: 336A 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 山田 浩司
(TEL. 03-6459-3445)

ダイナミックマッププラットフォーム、 北米の高精度3次元地図データカバレッジを拡大し世界で合計180万kmに

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、グループ会社である Dynamic Map Platform North America, Inc.とともに、北米における高精度3次元地図データを新たに約30万km整備し、データカバレッジを約150万kmまで拡大しましたことをお知らせします。この拡大により、当社が保有するデータはグローバルで合計約180万kmに達し、世界最大級のカバレッジとなりました。



©2025 Dynamic Map Platform North America, Inc. All rights reserved. ©OpenStreetMap contributors.

高精度3次元地図データの北米におけるカバレッジ

当社の高精度 3 次元地図データは、車の自動運転に必要な実在地物^{※1}と仮想地物^{※2}の情報をセンチメートル級の高精度で整備・収録しています。今般整備が完了した約 150 万 km の北米データには、米国およびカナダの高速道路や幹線道路といった主要道路^{※3}が含まれています。当社は今後、車の自動運転や先進運転支援システム(ADAS)を中心に本データを展開し、安全で快適なハンズフリー運転の実現およびグローバルな自動運転技術の発展に、より一層貢献してまいります。

※1 停止線や道路標識など現実世界に存在する目視可能な要素

※2 車線中心線など現実世界に存在しない仮想の要素

※3 OpenStreetMap(osm.org)における上位クラスの道路分類 Motorway、Trunk、Primary、Secondary

【各社代表コメント】



(写真左)ダイナミックマッププラットフォーム株式会社 代表取締役社長 CEO 吉村 修一 コメント

広大なデータカバレッジとセンチメートル級の高精度を持つ当社の 3 次元地図データは、生成 AI が急速に進化する昨今において、自動車業界のイノベーションの基盤となるでしょう。さらに当社のグローバルなデータは、自動車だけでなく、世界中の重要なインフラのシミュレーション、計画、管理にも大きく貢献すると確信しています。当社はこれからも、地球をまるごとデジタル空間に複製する“Modeling The Earth”というミッションの実現に向け邁進してまいります。

(写真右)Dynamic Map Platform North America, Inc. CEO Chris Thibodeau コメント

今般の北米におけるカバレッジ拡大は、正確かつ詳細な 3 次元地図データの提供を通してより良いユーザー体験を創出することで、自動車業界のグローバルな発展に貢献するという当社のコミットメントを裏付けるものです。当社の高精度 3 次元地図データにより、分離帯など物理的な区切りのない単一の区画線のみで分隔された道路においても安心かつ快適なハンズフリー運転の提供を可能とし、あらゆる国の多くの道路において実現が可能になります。

また、当社データのもう一つの大きな利点は、北米にある 28,000 軒以上の自動車販売店のうち 99%

が、当社がマッピングした道路から 1 マイル(約 1.6km)以内に位置していることです。これにより当社のクライアントは、高度な ADAS 機能を搭載した車両に顧客が安心して簡単に試乗できる環境を提供することが可能となっています。

■本件に関する問い合わせ

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

メール：ir@dynamic-maps.co.jp

HP：<https://www.dynamic-maps.co.jp/>